



薬剤スクリーニングシート

氏名 様 調整日 月 日

1 薬剤をすべて書き入れる

薬剤名	朝	昼	夕	寝る前

種類ごとに分類する

質問に回答する

<input checked="" type="checkbox"/>	薬剤の種類	薬剤の例	薬剤名 2	質問	回答 3	備考
A	催眠鎮静剤・抗不安薬	エチゾラム ゾピクロン、ルネスタ ベルソムラ		日中の傾眠、ふらつきがある。 (過鎮静の状態での転倒の危険があるため)	はい・いいえ	
B	抗うつ剤	トリプタノール トフラニール アモキシサン		三環系抗うつ剤(トリプタノール等)である。 (高齢者には抗コリン症状、めまい等が高確率に起きるため)	はい・いいえ	
C	抗精神病薬	リスパダール コントミン		BPSDの原因が分っていない状態である。 (BPSDへの対応を第一に考え、行動が落ち着いたらすぐに薬剤中止する)	はい・いいえ	
D	高血圧治療薬	アムロジピン カンデサルタン		血圧が安定している状態である、併用降圧薬がある (なるべく多剤併用は避け、1剤にできないか検討する)	はい・いいえ	
E	糖尿病治療薬	ジャヌビア グラクティブ、エクア ネシーナ、オングリザ		血糖が安定している状態である 糖尿病専門医師の診察をまだ受けていない (血糖安定していれば低血糖のリスクもあるため医師と相談し減薬する)	はい・いいえ	
F	脂質異常症治療薬	ヘスタチン、リパロ クレストール エバデール		75歳以上でかつ脳心梗塞の既往がない。 (第1次予防としての高齢者投与はエビデンスがない)	はい・いいえ	
G	抗凝固薬	ワーファリン クロビドグレル バイアスピリン		出血がある、出血しやすい 転倒の危険がきわめて高い。 (出血リスクと梗塞リスクのどちらが高いか?検討する)	はい・いいえ	
H	消化性潰瘍治療薬	ランソプラゾール、 ガスター		消化器症状は、すでに無くなっている状態である。 (本人に直接聞く)	はい・いいえ	
I	鎮痛薬	カロナール ロキソニン セレコックス		疼痛は、すでに無くなっている状態である。 (本人に直接聞く)	はい・いいえ	
J	抗微生物薬	セフカペンピボキシ ル		投与予定期間はすでに終了している。 (長期服用は耐性菌を発生させる原因になる)	はい・いいえ	
K	緩下剤	マグラックス バントシン		下痢をしている状態である。	はい・いいえ	
L	抗コリン薬	※に記載		ARSを薬剤師に試算依頼できていない。 (抗コリン作用は単独の薬剤の作用ではなく服用薬剤の総コリン 負荷が重要とされるから、薬剤師に試算依頼する)	はい・いいえ	
M	その他			薬の効果が不明である。処方理由が不明である。	はい・いいえ	

ARS = Anticholinergic risk scale

はいと答えた薬剤は中止を検討する。ただし抗うつ薬、抗コリン薬は急激な中止は離脱症状をまねく恐れがあるため段階的に中止すること。

入所時薬剤	
錠数	錠
種類	種類

退所時薬剤	
錠数	錠
種類	種類

※抗コリン薬の例 プスコパン、バップフォー、ウリトス、ベンケア、アーテン、ウルチプロ、アノーロ、スピオルトなど喘息の吸入